

なる作品がたくさん展示されていた。最近、日本刀ブームで、ことに女性たちの間でもてはやされていると聞いたことがあるが、なるほど見れば見るほど美しい。

宝物館で時間をとってしまい、友だちとの約束の場所に戻ってきたときは夕方の四時を回っていた。これから名古屋城の城内見学は無理とわかり、東京に戻ってきた。

## 大字 柏崎

小野澤繁雄

散歩のような歩きでは、橋があれば渡り、通りがあればこれも渡る。たまたま信号が青だったと  
いうことだけでみちを横断することもある。川や通りが町や町内の境になっていることが多い。そ  
んなことで、散歩では大抵複数の町内を跨いで歩いている。

じぶんの住む町内は丘陵のはずれで、もとは見渡す限り水田だったところ。土地改良で近隣の町  
内ができた。それが、できてからせいぜい四十年の経過らしい。隣り町内の中学校がことし四十周  
年のお祝いになっている。

そういうことでは、近隣の住民はみな新興住民である。

あるとき、たぶん古凍ふるこおりを歩いていたときとおもう。大型の犬を連れている、というか大型の犬に  
リードでつながっているおばあさんとすれ違った。そのときは、なぜか犬種を聞いていない。大型  
の犬をみかけることはそうないことで、大型犬ということでは、ボルゾイであったときは、それ  
も二頭を女性がつれていたののであったときは、さすがに驚いた。ロシアで狼狩りにつかわれると

いうボルゾイに近所であうことになったことには今でも違和感がある。

ところで、挨拶をかわすことのできるみちはあり、どちらまで？と聞くこともある。柏崎までいくんか？とそうそのときおばあさんに聞かれた。そこで、何かハツとした。柏崎はそれまで耳に聞くということがなかった。市内の地図に、眼で読んだことはある。

こんな歌にした。

大型の犬におばあさん柏崎までいくんかと云われてしまう

柏崎は旧村名で、古凍も同じ。じぶんの住む町内には町名に町が付いているが、柏崎や古凍には付いていない。柏崎には郵便局もある。

ということ、あの柏崎（新潟県）でないことを断る必要があるかもしれない。題詠で詠んだときのように歌のうしろに括弧して（大字柏崎）としたらよいだろうか。

あとでのことだが、（またこれまで使ったことはないが、）詞書というやり方があった。

柏崎は、しらべると傾斜地の先（崎）のこと。川の屈曲するところにできた地形で、柏は、山麓、砂丘、自然堤防などの傾斜地を意味し、崎が川の屈曲点に土砂が堆積して生じた自然堤防の先頭（崎）をあらわしている、という。

ところで、柏崎村の鎮守社としてあったという鷺大神社だが、祭神は大国主命で、鷺を祀っているわけではないらしい。（柏）崎にあるところから鷺の宮と称していたという。

鷺大神社でも歌を詠んだことがあるが、そのときはそんなことはしらなかった。もう齢だし、お祈りすることがないようにも感じ、手を合わせてから、何か祈ることがあるだろうかと思ったことだ。

ふたつでは多いだろうか祈りする鷺大神社両の手合わせ